

PULSAR



定価：¥ 997,500- (ペア・税込)

PULSAR (パルサー) がデビューしたのは 2009 年のラスヴェガス CES。
 見た目の大きさからは想像出来ない程深い低音の分解能力、音場空間表現の大きさ、そしてバランス良い音楽表現。
 PEARL に出会った頃の圧倒的な感動の再会がありました。
 採用されたミッドレンジはマグネシウムコーンを採用し、よりストロークを稼ぎ出す事により、その小ぶりのボディからは想像出来ないほど力強い再生します。
 Joseph Audio はオーナー 兼 設計者である Jeff Joseph (ジェフ・ジョセフ) 氏が立ち上げた、アメリカの Hi-End スピーカーメーカー。2004 年に日本で販売
 が開始される前に、さまざまな賞を受賞しています。Joseph Audio (ジョセフオーディオ) のフラッグシップモデルである「Pearl」(パール) もまた 2002 年と
 2003 年のベストサウンド第 1 位を獲得した由緒あるマスターピースであり、PULSAR もその確かな血統を引き継いでいます。
 また Pearl (パール) と同様にインピーダンスが 5Ω 以上を保持し、アンプに負担がかからない為、管球式アンプでも余力のあるドライブが可能となっています。
 PULSAR は「PULSE」の造語です。PULSE の意味は「躍動」。
 その名の通り躍動感にあふれる PULSAR の再生は、次聴く音楽をより楽しく奏でます。
 また「PULSE」の他の意味の一つは、「鼓動」。
 心臓の鼓動の様に駆動する PULSAR は、ソウルフルな再生で聴く人々の心を揺り動かす事となるのです。

PULSAR 背面



PULSAR 端子



カルダス社の
SP ターミナルを使用
Y ラグ端子接続専用

| Specifications of PULSAR | |
|--------------------------|--|
| 形式 | 2 ウェイ・パスレフ型 ブックシェル |
| ユニット | ツイーター 25mm 径 ソナテック (SEAS Norway) ミッドレンジ 160mm 径 マグネシウムコーン (SEAS Norway) |
| 感度 | 8Ω (定格) 6Ω (最少) |
| インピーダンス | 83dB (2.83V@1m) |
| ネットワーク | インフィナイトスロープ・ネットワーク採用 |
| クロスオーバー | 2000Hz |
| 周波数特性 | 39Hz (最大 30Hz) ~ 21kHz |
| サイズ | 385(H) × 215(W) × 330(D) mm |
| 質量 | 14.5kg (1本) |
| カラーバリエーション | メープル / サペリ (サイドパネルの選択) ※本体はブラックにラッカー仕上げ |
| ジャンパーケーブル | WIREWORLD 製 ジャンパーケーブル |
| 付属品 | SP35HR と変換ネジ |

Joseph Audio パテント 驚異の 120dB/oct インフィナイトスロープ・ネットワークと メタルコーンウーファのコンビネーションが生み出す ハイスピード低域 & 中高域の究極の一体感

Joseph Audio の革新的なネットワーク技術 (US patent NO.4771466)

最先端の技術の結晶とも言える軽量高剛性のメタルコーンウーファは通常のクロスオーバーでは完全にコントロールする事は出来ません。
 JOSEPH AUDIO のパテントであるインフィナイトスロープ・ネットワークはリングングを見事に排除し、耳障りなザラザラした歪音を取り除きます。
 このクロスオーバーは、LCR を直列 / 並列と組み合わせて 120dB/oct にも及ぶスロープを実現しました。
 6dB/oct や 12dB/oct のクロスオーバーが一般的なスピーカーと比べると、その急激なスロープは驚きです。
 これによりユニット間の干渉が極端に減り、まるでフルレンジのような自然な一体感と濁りの無いピュアな音が再現されます。
 ミッドレンジ・ウーファをメタルで統一し、インフィナイトスロープネットワークを採用する事でメタルコーンの泣き所である金属のリングングを理想的なまでに取り除き、メタルコーンが再現する超ハイスピードの低域は、中高域との一体感を生み出しています。

PULSAR 専用スピーカースタンド

型式：PULSAR STD60/2P (支柱：60cm 高) 定価：¥ 186,900- (ペア・税込)
 PULSAR STD70/2P (支柱：70cm 高) 定価：¥ 194,250- (ペア・税込)

Joseph Audio スピーカー PULSAR (パルサー) の専用スピーカースタンド。
 PULSAR のウーファードライブユニットは非常にパワフルな駆動を実現し、39Hz (最大 30Hz) の重低域まで再生しますが、そのパワフルな駆動により PULSAR のキャビネットは大きく振動している状態になります。
 その大きい振動が音楽を再生するにあたってサウンドステージや音のクリアな響きを阻害する原因となりますが、PULSAR 本体をスピーカースタンドの台にネジで固定する事によって、安定した音楽表現が可能となります。支柱部分は、60cm と 70cm の 2 種類の高さから選択できます。
 PULSAR 専用スタンドのスピーカー台部分のボードは、the j1 project で採用している軟硬素材のハイポリマーを使用し、効果的に音に悪影響を与える共振を吸収します。ただ単に振動制御しすぎてしまうと活きた音楽再生に必要な「音楽的な響き」まで排除してしまう為、振動対策には配慮が必要です。しかしこの振動対策に理想的なハイポリマーを採用する事により、音楽再生に必要な「音楽的な響き」を残しつつ乱れの原因となる共振を取り除きます。
 従来のスピーカースタンドは金属部分の共振による鳴きを抑える必要がありましたが、ハイポリマーボードの採用により、スピーカー部とスタンド部を完璧なアインレーションを実現する事で金属部分の鳴きを抑える必要がありません。この PULSAR 専用スタンドはハイポリマーの採用でまさに理想的な振動対策を施し、PULSAR のポテンシャルをギリギリまで引き出す事に成功しました。



スピーカー PULSAR 固定用の穴



スピーカーを置くハイポリマー台座の裏面裏側からネジで PULSAR をハイポリマー台座に固定する事により共振を効果的に抑制します。



スピーカースタンドの脚足部分は the j1 project の大型タイプのインシュレータースパイク SP50HB とスパイクベース BA50HB を使用し、床からの影響を完全にシャットアウトします。



振動対策の為に、支柱は前後で太さ変更する事で共振モードを変えています。※写真は 60cm 長さ支柱

※ハイポリマーは軟硬素材の関係上、表面に小さな傷が付いている事がありますがご了承下さい